

編集後記

編集後記を書いている 2024 年 11 月は、観測史上最も遅い富士山の初冠雪、奄美・沖縄地方に季節外れの豪雨など、気候変動の中にいるなど思われるニュースの中にいます。

本年報には新型コロナウイルスによる感染拡大が終息に向かう中でスタートした 2023 年度の福岡大学理学部・理学研究科の教育、研究活動を収録しました。新型コロナ感染症によるパンデミックの前の活発な活動状況を取り戻しているように見えます。それとともに、社会貢献活動、教員の海外研修など、十分に反映しきれていないものがありそうだということを 2024 年度の活動の中で感じているところです。私たちは、様々な視点から、社会とのつながりを意識してゆく必要があると思われます。理学部は、大学設置基準の改正への対応のために改組を先送りし、再検討を始めています。本年報が今後の理学部・理学研究科の教育研究活動の改善・改革の一助となることを願ってやみません。

2012 年度版からスタートした理学部・理学研究科年報は、2023 年度版で 12 巻目となりました。『理学部・理学研究科の年報 2023』の編集については、編集委員である 2023 年度の学科主任の先生方、研究科長、深堀教務三課課長補佐はじめ、関係者の皆様方に多大なご協力をいただきました。有り難うございました。本年報は理学部ホームページに pdf 版で掲載するとともに、ISSN 日本センター（国立国会図書館）に登録し、学内のみならず学外の方々も閲覧できるようにしています。尚、2016 年度版までは紙媒体と Web で公開していましたが、2017 年度版からは、紙媒体での公開を廃止し、Web だけで公開しています。

(2024 年 11 月 12 日 林 政彦 記)

編集委員

林 政彦 (理学部長)
香野 淳 (理学研究科長、物理科学科)
石黒 賢士 (応用数学科)
小柴 琢己 (化学科)
三好 雅也 (地球圏科学科)
深堀 真理子 (教務三課)